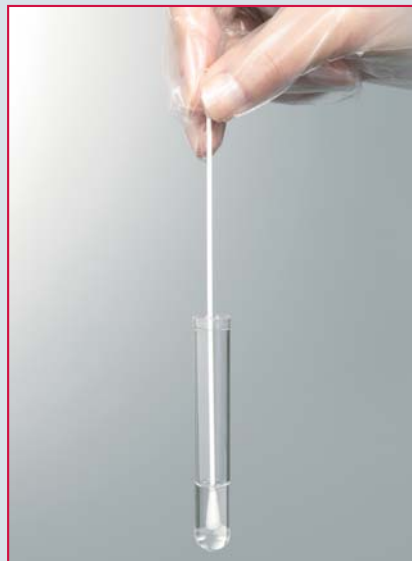


BD Rota/Adeno エグザマンTMスティック【操作方法】

◆ 操作法(スティック受けを使用する場合) *検体は糞便を用いてください。水様便、固形便、綿棒で採取した糞便が使用できます。



抽出試薬1.5mLをテストチューブに加えます。



検体(水様便100 μ L、固形便30~50mg、または綿棒にて患者肛門から採取した便)を加えてよく攪拌します。



テストチューブ内の検体調製液が飛散しないように、スティック受けの頂点を下に向けたまま、静かにテストチューブ内に入れます。














スティックを入れて、静置後5~10分の間に判定します。

操作上の注意

- 検体は発症後できるだけ早く採取してください。最初の症状が現れてから1週間後には、ウイルス粒子は減少し始めることに留意してください。
- 検体採取後、すぐに測定できない場合は2~8℃で冷蔵保存し、24時間以上保存の必要がある場合は凍結保存してください。保存検体を使用する場合は、室温に戻し均一にしたものを使用してください。
- 綿棒で検体を採取する場合は、付属の綿棒にて患者肛門に綿球部が隠れる程度、軽く回しながら綿棒を挿入し、糞便を採取してください。
- スティックをテストチューブに入れる前に、スティック受けがテストチューブの底部に沈んでいることを必ず確認してください。スティック受けがテストチューブの底部に沈んでいない場合は、スティック受けをスティックや綿棒などで押し付けてしっかり沈めてください。
- スティックの検体吸収部が検体調製液に浸されていることを確認し、検査してください。

ご使用の際は、添付文書をよくお読みください。

BD Rota/Adeno エグザマンTM スティック【判定方法】

判定部のライン	判定
コントロール (C)  ロタウイルス (R) 	ロタウイルス陽性 判定部にコントロールライン(緑色)と赤色のラインが現れた場合、ロタウイルス陽性と判定する。
コントロール (C)  アデノウイルス (A) 	アデノウイルス陽性 判定部にコントロールライン(緑色)と青色のラインが現れた場合、アデノウイルス陽性と判定する。
(C)  (R)  (A) 	ロタウイルス陽性及びアデノウイルス陽性 判定部にコントロールライン(緑色)と赤色と青色のライン両方が現れた場合、ロタウイルスおよびアデノウイルス陽性と判定する。
(C) 	陰性 判定部にコントロールライン(緑色)のみが現れた場合、陰性と判定する。
(C)  (R)  (A) 	判定不能 全てのラインが認められない場合、又は上記以外の組み合わせでラインが認められた場合、判定不能とする。

ご使用の際は、添付文書をよくお読みください。

◆ 判定上の注意 ◆

- スティック静置後5～10分で判定してください。5分未満あるいは10分以上に現れたラインでは、判定を行なわないでください。
- 本製品は多数の糞便検体を用いて性能の確認をしていますが、未確認の反応妨害物質の影響や、検体との不適合の可能性は否定できません。
- 検体が過剰な場合、判定ラインが茶色くなり判定できない場合があります。そのような時は抽出試薬の量を増やして、再度測定を行なってください。
- 測定において色が不明瞭な淡いラインが現れることがあります。ほとんどの場合、これは陰性を示しています。試験結果において色が不明瞭な淡いラインの場合、結果の判定には特に注意してください。
- 本品による陰性の検査結果は、ロタウイルス感染及びアデノウイルス感染を完全に否定するものではありません。診断は必ず他の検査結果及び臨床症状情報などを考慮して総合的に行なってください。



◆ 製品情報は、POCTホームページ www.bd.com/jp/poct/

製造販売元

BD 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

お問い合わせは ☎ 0120-8555-90